

令和5年度卒業生アンケート

(令和7年6月実施)

◆目的

本学は「建学の精神」と「教育目標」に基づいて保育者としての知識と技能を修得し、それらに裏打ちされた深い造詣と社会貢献への使命感を備えた人材を社会に送り出すことに努めている。

このアンケートは、本学の教育活動の成果に係る客観的指標として、教育内容、学生指導についての改善・向上に資する為に、令和5年度卒業生に対して実施したものである。

◆アンケート調査対象 令和5年度卒業生（訓練生含む）50名

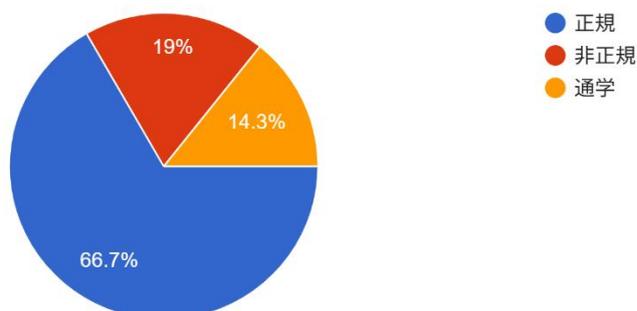
◆回答数（回答率） 24名（48%）

◆アンケート結果

【現在の状況について（全員）】

勤務形態を教えてください。

21件の回答

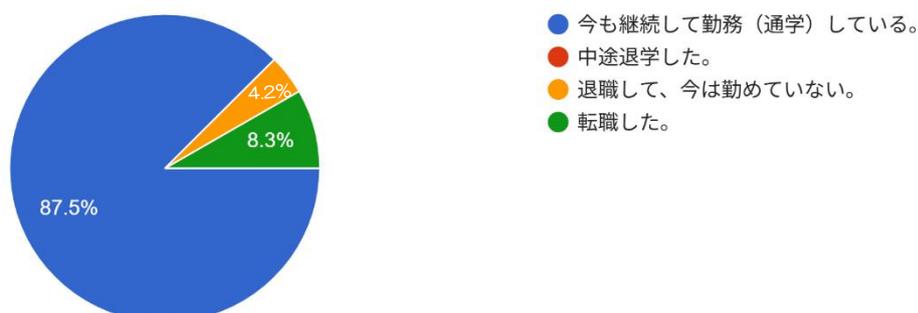


【勤務形態について（継続して勤務・通学している方）】

あなたの最初の勤務（進学）先に、今も勤務（通学）していますか？

それとも転職・退職等しましたか？

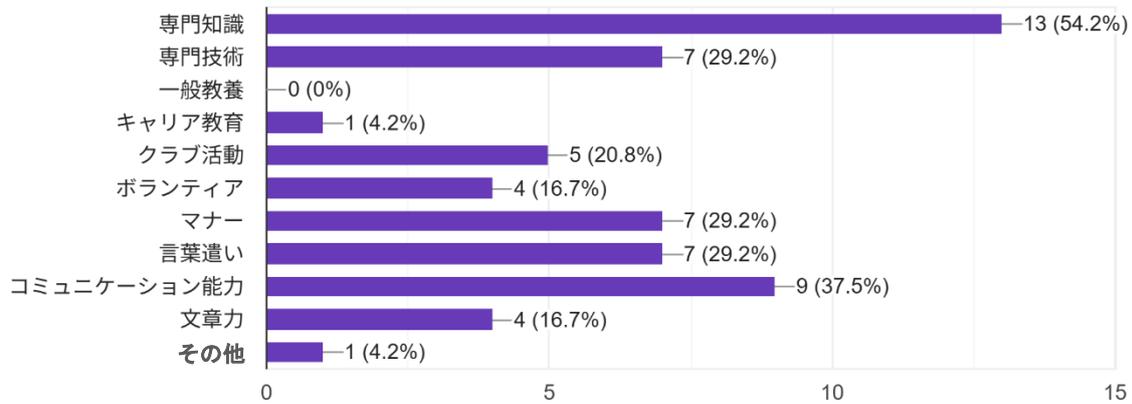
24件の回答



【学生時代の取り組みについて（全員）】

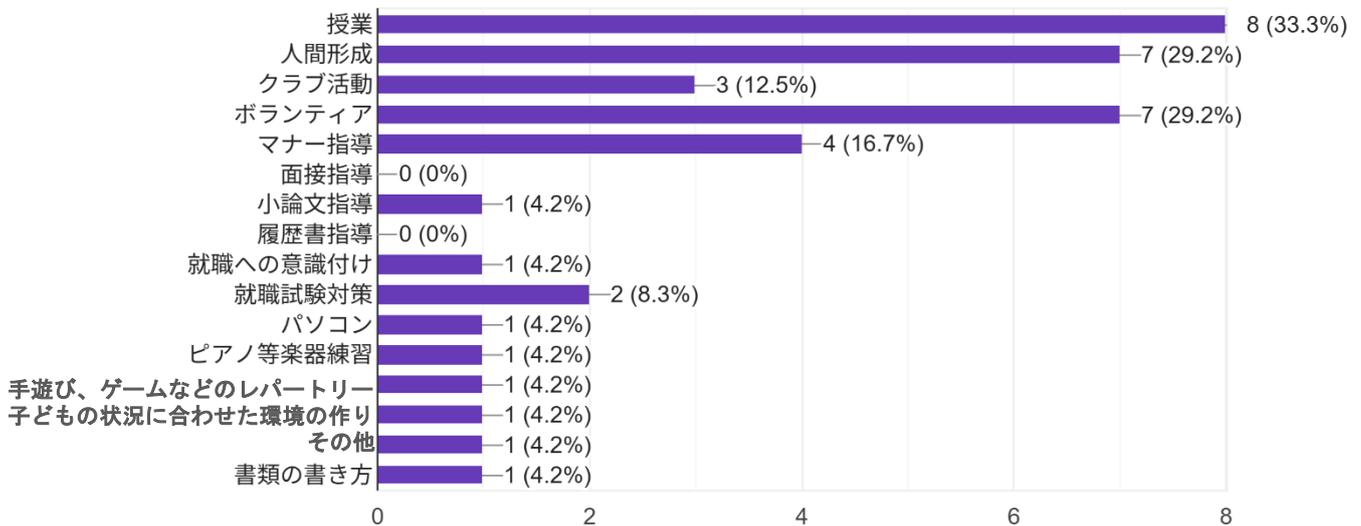
【質問 1】短大生活中に力を入れて取り組んだことで、現在大いに役立っている項目を選択して下さい（複数回答可）

24 件の回答



【質問 2】就職・進学などして、短大でもっと力を入れて取り組んでおけばよかったと思うことについて、下記の項目から選択してください（複数回答可）

24 件の回答



【質問3】実際に就職（進学）した経験を踏まえて、就職活動をする上で大切なことについて、短大での学修や現場で受けた指導などから後輩たちにアドバイスするとしたら、どのようなことがありますか？

10 件の回答

- ・仕事を教わる立場なので謙虚な姿勢であること。
- ・就職してからも学びは沢山ある。学校である程度の知識を頭に入れて日々の勉強に取り組む。
- ・就職したい園に何回か行き、その場で働く先生と会話すること。
- ・私は在学中にスケッチブックシアターや手作りの小物をいろいろ作っておいたことで、実習や後輩への保育に関する指導等、それを活かして自分らしさを伝えることができました。少しずつ準備しておく、いざというときにも役立ちますし、自信になります。また、実習や授業で忙しくて就活のことまで目が向かないこともあると思いますが、実は就職活動って思っているより早く始まっていることが多いです。なので、何事も早め早めに動いておくことが大事だと思います。履歴書や面接対策も、いざとなって焦るより、余裕のあるうちに少しずつ進めておいた方が絶対に楽です。自分の「好き」や「得意」を知っておくことがとても大切だと感じています。頑張ってください！
- ・手遊びやうたやダンスなどはすぐに現場で必要です。たくさん身に付けておくと、自分のためになります。
- ・いろいろな園をみる中で、実習やボランティア活動を活用しながら自分に合った就職先を見つけること。
- ・忍耐
- ・周りの先生とのコミュニケーションが大切です
- ・子どもの命を守ることの大変さと、意識の違いですれ違いが起こることがあったため、保育士になるという覚悟を持って保育士になった方がいいと思う。
- ・専門知識や技術を磨くことはもちろん大切ですが、言葉遣いやマナーは特に第一印象として見られがちなので、普段から気を付けておいた方がいいと思います。